

20年度・委員会スタート

狭山市文化団体連合会では5つの委員会を組織し、各委員会の役割を通して本会の運営上の課題解決にあたってきました。

今年度も各委員会の組織が決まり、委員会がスタートいたしました。各委員会の活動に、ぜひご協力下さい。

施設研究委員会

委員長：打揚真理子 副委員長：栄木純子

渉外委員会

委員長：横田亮憲 副委員長：中村伶華

広報委員会

委員長：角南一成 副委員長：高沢正夫

文化教育委員会

委員長：岸野智子 副委員長：中内伊美子

事業委員会

委員長：小川忠史 副委員長：花柳康元



平成20年度・定期総会

(委員長・副委員長は運営委員として会の運営に参画します。また、各委員会には理事以外の会員も参加できます)

----- さやま・文化の息吹 -----

日本詩吟学院 雪吟会

「漢詩を読み下したものに一種の節をつけ、声に出して詠うもの」(広辞苑より)が詩吟の原点です。

現在は短歌、俳句、新体詩、現代詩、翻訳詩をも詩吟の対象として広く詠われています。「詩を詠う」とは実は歌そのものです。歌は古今東西さまざまな形で変化、発展してきました。つまり詩吟は歌の一ジャンルなのです。

詩吟では従来主に定型詩を素材にしてきましたが、これからは不定型詩やアニメソングまでもが詩吟に取り入れられて行くことでしょう。当然節回しも少しずつ変化すると思われます。すでに自作の短歌、俳句が詠われています。

詩吟は古くさくてむずかしいとの評もありますが、決してそうではありません。朗詠はだれでも、いつでも、いくつからでも始められます。発声自体が、血液循環、緊張を伴う気力の充実等、心身の健康に寄与する活動です。詩吟は気張らずに文芸や音楽に親しむ精神活動でもあります。

私たちは、回りの人たちをお誘いしながら、これからも楽しく奥の深い詩吟活動を続けます。

(雪吟会 竹迫信岳)